

＜北海道熊研究会 会報＞ 第59号 2016年 1月 18日

ご意見ご連絡は下記の email へどうぞ

e-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所内(Tel. 011-892-1057)

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nicholsピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

既報会報の1～58号はWebsiteに「北海道野生動物研究所」と入力しご覧下さい

「北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Associationの活動目的

熊の実像について調査研究し、熊による人畜及びその他経済的被害を予防しつつ、人と熊が棲み分けた状態で共存を図り、狩猟以外では熊を殺さない社会の形成を図るための提言と啓発活動を行う。この考えの根底は、この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として人が為すべき正しき道)に基づく理念による。

[I] <日本には、本州以南に月輪熊U.thibetanusが、そして北海道には黒熊U.arctosが生息しているが、時に、山野に設置された、案内標識や測量版等を熊が齧ったり、手爪で叩いたりし、壊す事があるが、最近のその実例と、対策法を述べる>

<下記の写真は山形県で月輪熊に壊された標識、2015年4月に設置:10月28日撮>



<依頼文>

山形県森林組合連合会の佐藤と申します。そちらのホームページを拝見し、お尋ねしたい事項があり突然の事で大変申し訳ございませんがメールさせて頂きました。実は、山林の遊歩道に木製の案内標識を設置しているのですが、熊被害にあい、標識が壊される事態が発生しております。壊される度に新しく設置しているのですが、毎年同様の被害にあうため、困っているところです。何か壊される原因があるのではないかと色々調べてはみたのですが、これという理由が見つかりませんでした。ご多忙のところ申し訳ございませんが、もし何か思い当たる理由や生態、対策等ございましたら、ご教授頂ければ幸いです。参考として画像を添付させていただきます。

山形県森林組合連合会、事業部 佐藤 宗一郎

<門崎 允昭の回答文>

佐藤 宗一郎 様

- ・北海道では、昔から、登山道などの木製の標識や測量用の標識板が、熊に齧られたり壊されたりしています。
- ・熊がこのような事をする原因は、自然に無い物に対する違和感や好奇心、ないし、塗料等の臭いが原因で為すものと、私は看取しています。
- ・防止策は、これらの標識を、柱も含めて標識板を、有刺鉄線で約5cm間隔で巻くと良いですよ。熊がそれを齧ったり、爪で壊そうとしても、有刺鉄線の刺が痛いので、壊すまでは、至りません。
- ・鉄板の標識でも、齧ったり、手爪で叩いたりして、傷をつけます。

